

事業報告

2023 年度 重点事業と主な内容 実施評価

1 看護職の確保と働きやすい職場環境づくりへの支援

1) 看護職としてのキャリア継続支援の推進と就業支援

- ・ハローワークとの連携会議において情報交換を密に行い連携事業を進めている。また、看護補助者の就職等の相談についてハローワークを紹介して広報を行った。
- ・新たに学生対象の就職相談研修を実施して 64 名(内保護者 22 名)が参加し好評であった。
- ・看護フェスティバルでは 62 名の進路相談を実施
- ・日本看護協会との連携事業で看護補助者の体験会と研修を実施。ハローワークや看護部長会、保健所、大学等幅広く広報を実施。体験会 23 名参加、研修会 14 名(2 回実施)就職者 1 名であった。看護補助者への関心が高く、継続実施の希望があった。
- ・日本看護協会による自治体保健師の就職支援イベントを実施。参加者 42 名(オンライン 4 名含む)で、自治体保健師の活動内容が良く理解でき好評だった。

2) 訪問看護領域で働く看護職の育成と広報の強化

- ・研修の一本化により地域看護課での研修を研修課に集約して実施
- ・訪問看護師の資質向上のため現任研修を 4 回 238 名、管理者研修を 3 回 130 名の参加
- ・研修参加が困難な看護職向けにオンデマンド配信ができるように作成中

3) ナースセンターの活用の促進と e ナースセンター登録者への継続支援

- ・ナースセンターの広報強化と登録者への積極的な広報を目的にナースセンター用の SNS(LINE)を活用し、随時求人情報を具体的に発信した。登録者数 450 名で就職者数の増加につながっている。

4) 就業継続が可能な看護職の働き方について実態把握と課題の明確化

- ・働き方改革推進セミナーとして神奈川県医療勤務改善支援センター主催の研修を共催で実施。参加施設 75 施設であった。
- ・ヘルシーワークプレイスについては、社会経済福祉委員会で過去の研修から現状と学びを抽出し課題の明確化を進めている。
- ・看護補助者との協同に関する管理者研修年 3 回実施 参加者数 287 名
- ・日本看護協会による看護業務の効率化先進事例アワードの広報を実施

5) プラチナナースの就業支援

- ・プラチナナースの登録制度について検討中
- ・キャリア継続支援研修「50 歳からのキャリアの再構築」として 7 月 4 日実施。66 名参加し、今後の方向性が確認できたと好評だった。研修動画をナースセンターホームページに掲載

2 感染・災害対策の充実

1) 感染症防止対策についての研修や県民への感染防止啓発事業の強化

- ・看護フェスティバルで感染に関するチラシと手ぬぐいを 300 部配布。そのほかまちの保健室や地域祭り等で、チラシを配布し感染防止について啓発した。

2) 中小規模施設への高齢者施設への感染防止対策支援

- ・看護職の少ない介護保険医療施設等への標準予防策の講習や手洗いチェッカーの貸出等を実施。全体

で 77 施設 3,692 名が実施 年間使用率 63.8%でニーズが高い。

- ・感染看護認定看護師等のリソースナースのネットワーク作りについて、実態調査を行い今後の活動内容を検討する。
- ・感染に関する相談事業は継続中で、訪問指導が 11ヶ所 12 件、電話相談が 48 件で標準予防策や他の感染症への対応依頼や相談が増加した。

3) 災害支援ナース育成の推進と災害発生時の支援体制整備

- ・新たな仕組みでの災害支援ナース研修を実施 12 月と 1 月の 2 回で計 79 名の研修を修了し、災害・感染症医療業務従事者として登録し県へ報告
- ・県災害医療グループと支援体制について情報共有を行い派遣体制の構築を進めた。
- ・市民啓発研修の実施と県主催のぼうさいこくたい 2023 に委員会活動の報告。市民への出前講座へのアンケートから課題を抽出して講座内容を評価する。

3 質の高い看護職の育成とキャリア支援の推進

1) 看護職のニーズやキャリアに応じた研修の充実

- ・各施設の人員不足等により研修への参加状況は減少傾向であったが、随時 LINE により追加募集を行った。全体で 57 項目参加者 3206 名。研修者数はほぼ横ばいを維持した。
- ・看護学会演題申込について各施設へ働きかけ、52 題の応募で 40 題を決定して開催した。広く学会参加を呼びかけ 541 名来場し、新型コロナウイルス感染症前の参加者に近づきつつある。
- ・BLS、PEARS 研修については継続実施し参加者数はそれぞれ 39 名と 15 名の参加であった。
- ・支部との連携で新人研修は継続し、参加者は増加傾向。入会促進のためタオルハンカチを配布

2) 情報通信技術 (ICT) を活用した研修受講の拡大

- ・看護技術における e-ラーニング教育の申し込み者は前年度が 67 名で、今年度は 43 名だった。
- ・オンデマンド配信の整備は準備中
- ・LINE やホームページのスライダーでの広報を拡大・充実させ、LINE 登録数 3,438 名で、研修申込等が簡便になったと好評である。

3) 小規模施設、介護福祉施設クリニック等に勤務する看護職への支援強化

- ・小中規模施設の看護職への研修は継続して実施

4 地域包括ケアの充実と多職種連携の推進

1) 地域包括ケア推進のための研修の強化

- ・昨年同様地域連携のための相互研修年 2 回実施し参加者数は合わせて 119 名
- ・出向事業 2 ステーションから 3 ステーションへ拡大
- ・訪問看護フェスティバルを 10 月 7 日に開催。参加者 208 名 (市民 99 名) アドバンスケアプランニング (ACP) について考える場として講演会を実施し好評であった。
- ・新たに外来における在宅療養支援能力向上のための研修を e-ラーニングと演習で実施、43 名参加
- ・4 職能合同で「メンタルヘルスと自殺問題」として研修会を実施。共通の課題での学びとなった。

2) 母子のための地域包括ケアの実態把握と研修の実施

- ・女性の健康推進のため、プレコンセプションケアの研修を助産師職能委員会で開始

3) 「まちの保健室」事業の拡大への検討

- ・4 支部と 4 つの訪問看護ステーションにおいて地域祭り等に参加して実施、2,975 名が参加
- ・定期開催の準備のため試行で、2024 年 2 月に総合医療会館 1 階のホールで開催 32 名が参加

表内 ※中止は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

I 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業(定款第4条第1項第1号 公益目的事業)

事業実施内容
1 県民に対する看護の普及活動
1) 看護週間行事
(1) 看護フェスティバル 2023年5月6日(土) 新都市プラザ 参加者数 延 1,260名
(2) 「一日看護体験」事業 実施期間 2023年5月1日～8月31日 参加者数 4,989名 県内病院等実施施設 136施設
2) 県民に対する広報活動の強化
(1) 広報出版委員会の開催 【常任委員会活動報告(pp.59～60)参照】
(2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行 年6回 計199,600部発行 配布先：病院等施設、市町、図書館等及びホームページ掲載
(3) ホームページの充実・利用の促進 アクセス数 年529,305件(研修申込サイト除く) LINE登録者数 3,438名
2 県民のための健康相談及び知識の普及
1) 健康相談事業の充実
(1) 支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 活動支部 川崎支部、横浜北支部、横浜西支部、横須賀支部、相模原支部、県央支部 【支部活動報告(pp.35～48)参照】 参加者延1,121名 県看護協会訪問看護ステーション 年1回×4事業所 【訪問看護ステーション報告(pp.69～73)参照】 参加者延1,854名
(2) 委員会による「まちの保健室」活動 【委員会活動報告(pp.60～61)参照】 参加者延32名
2) 訪問看護の普及啓発を目的とした「かながわ訪問看護フェスティバル」の開催 2023年10月7日(土) 神奈川県総合医療会館7階 参加者数208名
3) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 県民及び看護職を対象とした禁煙の推進 「スモークフリー推進かながわ基金」の禁煙に関する委員会への参加(5月解散)
4) 県内の医療職に対する緊急情報の周知
(1) トピックス研修 年2回
①「看護基礎教育を考える会」 2023年9月28日(木) 受講者44名
②「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」 2024年1月27日(土) 受講者43名
(2) 緊急情報のホームページへの掲載(随時)

II 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業(定款第4条第1項第2号 公益目的事業)

事業実施内容
1 訪問看護及び居宅介護支援事業
1) 訪問看護事業 医師等との連携による療養支援、夜間・休日における緊急時の相談及び訪問、適切なケアと

事業実施内容

家族等への支援

(1) 訪問看護ステーション所長会議 年12回

(2) 訪問実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	12,653件
	あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)	8,747件
	おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	6,700件
	洋光台訪問看護ステーション(横浜市)	8,875件
	合計	36,975件

2) 居宅介護支援事業

要介護状態の人々が自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成及び相談支援

ケアプラン作成実績	かがやき訪問看護ステーション(藤沢市)	949件
	おおいそ訪問看護ステーション(大磯町)	635件
	合計	1,584件

3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価

(1) 利用者満足度調査 年1回

(2) 関係機関満足度調査 年1回

(3) 介護サービス情報公表にかかる事業所自己評価 年1回

4) 病院と看護協会訪問看護ステーションとの訪問看護出向事業 年1回×3事業所

5) 地域への活動

(1) 退院調整のための病院訪問(地域連携室など)

各訪問看護ステーション 年2回×4事業所

(2) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動

各訪問看護ステーションパンフレット作成

広報活動(広報誌、地域住民向け健康講座、SNS等の利用、協会立訪問看護ステーション募集サイト作成)

(3) 訪問看護ステーション教育支援(県補助)

同行訪問研修 5名

新任または経験の少ない訪問看護師への研修 7回

教育担当者への研修 1回

6) 看護職員等の資質の向上

(1) 訪問看護ステーション内研修

訪問看護に関する情報共有、勉強会等 各訪問看護ステーション 月2~4回

(2) 事例検討会

困難ケース等についての検討会 各訪問看護ステーション 年3回

(3) 研修への参加

訪問看護ステーション 年2回

7) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援

看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等の受け入れ 延143名/4ステーション

8) 関係機関との連携

関係団体との連携及び会議等への参加 各訪問看護ステーション 年8回

9) 県内訪問看護ステーションへの支援

パルスオキシメーター配布(厚生労働省からの無償譲渡) 県内375ヶ所

Ⅲ 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業(定款第4条第1項第3号 公益目的事業)

事業実施内容	
1	看護における医療安全体制強化のための支援
1)	医療安全情報収集・情報発信
	医療安全対策委員会 年8回 【常任委員会報告(p.61)参照】
	施設見学 1回 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 安全推進室)
	「医療安全情報」発行 年2回 2450部 配布先 病院等施設
2)	医療安全研修
	医療安全講演会 年1回 1日 受講者 119名
	医療安全管理者フォローアップ研修 年1回 1日 受講者 44名
	医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 年1回 1日 受講者 38名
3)	医療安全管理者養成研修修了者への活動支援
	医療安全管理者情報交換と啓発活動 交流会 年11回
4)	関連団体との連携推進
(1)	日本看護協会との連携 会議 年1回
(2)	神奈川県6団体による医療安全推進会議及びセミナーへの参加
	会議 年3回 書面会議、オンライン会議、セミナー開催(ハイブリッド) 参加者 393名
(3)	神奈川県医療事故調査支援団体等連絡協議会
	会議 年2回 医療事故調査制度研修会(ハイブリッド) 参加者 226名
(4)	神奈川県立病院機構医療安全推進体制に係る外部調査委員会
	会議 年11回
5)	医療安全に関する相談・情報提供
(1)	医療事故に関係した看護職への支援、相談対応 66件
(2)	医療事故防止対策に関する広報
(3)	「医療安全情報」のホームページ掲載
(4)	医療安全推進週間の広報(11月25日含む前後1週間)
2	災害時の看護支援活動の強化と普及
1)	関連団体との連携推進
(1)	関係機関との連携推進
	神奈川県医療危機対策課との打合せ 3回
	東京都看護協会訪問 1回
	神奈川県助産師会災害対策冊子リンク掲載 1回
	東日本大震災・原子力災害伝承館 1回
(2)	県・市合同総合防災訓練(ビッグレスキュー)への参加
	・縣市合同総合防災訓練会議 全体会議2回 作業部会2回
	・縣市合同総合防災訓練 2023年10月15日
	トリアージエリアにおける医療救護訓練 災害支援ナース5名参加
	救護所 小田原支部より5名参加
	展示会場出展 災害救護対策委員8名、看護協会職員3名参加
(3)	国民保護共同訓練への参加
	・避難全般会議 2回 ・要配慮者会議 2回 ・図上訓練会議 1回

事業実施内容

- ・プレ訓練 2023年12月19日
 - ・国民保護共同訓練 2024年2月6日
- 県庁本部1名、避難先連絡所（関東学院大学金沢文庫キャンパス）1名参加

(4) 横浜市災害看護研修

- ・横浜市災害支援ナース登録推進研修 2023年10月8日 受講者31名
- ・横浜市災害支援ナースフォローアップ研修 2024年1月28日 受講者72名

(5) 行政との連携

①神奈川県

- ・神奈川県防災行政通信網（閉域スマホ）通信訓練 年6回
- ・神奈川県地域防災計画の検討など

②横浜市

- ・横浜市通信訓練 年6回
- ・防災会議・災害医療連絡会議・国民保護協議会への参加 年1回
- ・横浜市防災マニュアルの検討など

2) 災害支援ナースの派遣

神奈川県及び日本看護協会の要請に基づく災害支援ナースの派遣

- ・令和6年能登半島地震災害支援ナース派遣 延96名
- 鳳至小学校（輪島市） 2024年1月12日～2月8日
- いしかわ総合スポーツセンター（金沢市） 2024年2月8日～2月17日
- ・令和6年能登半島地震災害支援ナース派遣者報告会開催 2024年3月5日 参加20名

3) 災害への備え・広報活動

(1) 災害救護対策委員会 【常任委員会活動報告(p.62)参照】

災害救護対策委員会 年11回

「かんご防災力GO！ご存知ですか？福祉避難所」 発行 年1回 3,000部

(2) 災害支援ナースの携行物品の整備

- ・災害支援ナース携行物品の消耗品の補充

(3) 災害看護研修の支援

- ①災害看護マネジメント研修 2023年6月2日 受講者72名
- ②新 災害支援ナース育成研修(JNA委託) 年2回 eラーニング+集合研修2日
- 第1回 2023年10月2日～12月24日 修了者40名
- 第2回 2023年11月1日～2024年1月21日 修了者39名

(4) 災害支援ナース関連情報ホームページ掲載

- ・災害支援ナース派遣体制変更 令和6年能登半島地震派遣災害支援ナース活動状況報告

(5) 災害支援ナース登録者 79名

(6) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発

- ・看護フェスティバル等で災害時お役立ち情報の実演、リーフレット配布 9部 4,500枚
- ・出前講座 4か所（横浜市中区、横浜市青葉区、藤沢市、茅ヶ崎市）で開催 参加者144名
- 出前講座開催チラシを県内市役所・区役所10か所に300部配布
- 出前講座 配布 災害時お役立ち情報・かんご防災力GO 10部 2,600枚配布
- ・行政、他看護協会からの依頼 災害時お役立ち情報・かんご防災力GO 10部 1,400枚配布

事業実施内容	
・ぼうさいこくたい 2023	2023年9月17日～9月18日
説明会・準備会議	5回 会場視察 1回
ポスター展示	災害時お役立ち情報・かんご防災力GO 8部 2,400枚配布
(7) マラソン大会救護ボランティア参加	
・湘南マラソン 救護活動	40名
・横浜マラソン 救護活動	66名
	ナースランナー 6名
3 感染対策における知識の普及と予防活動への支援	
1) 小規模施設の感染予防対策の充実	
認定看護師による出張相談	11施設 12回 延参加者 315名
2) 感染症に関する相談窓口・フォローアップ	48件
3) 関連機関との連携	
横浜市新型インフルエンザ等対策関係医療関係者連絡会	2回
県内保健福祉事務所訪問	2回
4) 県民対象とした感染防止についての知識の普及と啓発	
・看護フェスティバル他での感染対策啓蒙リーフレット・手ぬぐい配布	450枚
・グリッターバッグ貸出し事業	77施設 232日間 3,692名
5) 神奈川県病院協会	
共催事業：日本医療法人協会神奈川県支部総会後セミナー	参加者2名

IV 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(定款第4条第1項第4号 公益目的事業)

事業実施内容	
1 看護職の資質向上の支援	
1) 継続教育の推進	
(1) 看護実践能力研修	年29回 延36.5日 延受講者1,482名
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修	年19回 延25日 延受講者956名
(3) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：新人看護師)	全1日間 受講者61名
(4) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：中堅看護師)	全8日間 受講者24名
(5) 小規模施設に勤務する看護職員研修(対象：看護管理者)	全8日間 受講者20名
(6) 研修運営事業	
「研修一覧」タブロイド版作成	46,000部
(7) オープンセミナー	
病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開	
実施施設	23施設 延162研修(※うち中止13研修)
参加者	延1,270名
(8) 研修事業(案)説明会	年1回 参加アカウント数(オンライン)：68
(9) 新人支援研修・復職支援研修(オンライン教育ツール「ナースングスキル」の配信)	受講者43名
2) 新人看護職員研修の充実	
(1) がんばれ！新人ナース!!	年1回 受講者655名
3) 看護研究の充実	

事業実施内容

(1) 神奈川看護学会の開催

2023年12月2日(土) パシフィコ横浜アネックスホール 来場者 541名

- ・運営委員会 年4回 【常任委員会活動報告 pp. 62～63】参照】
- ・査読会議 年1回
- ・看護研究奨励賞選考会議 年1回

(2) 看護研究推進支援 研究指導講師紹介 3グループ

4) 教育企画運営に向けての支援

- (1) 教育研修委員会 【常任委員会活動報告(pp. 58～59)参照】
- (2) 准看護師教育検討委員会 【常任委員会活動報告(p. 63)参照】

2 看護職の活動の充実

- 1) 職能における研修等 【職能委員会活動報告(pp. 30～34)参照】
- 2) 支部における研修等 【支部活動報告(pp. 35～48)参照】
- 3) 看護職員の就業環境改善の促進
 - (1) 業務委員会 【常任委員会活動報告(p. 60)参照】
 - (2) 社会経済福祉委員会 【常任委員会活動報告(pp. 57～58)参照】

3 地域看護の推進と拡充

1) 地域看護の質向上と推進

(1) 訪問看護の推進

訪問看護ステーション一覧の作成 2,000部

配布先:訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載

(2) 「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置

訪問看護等に関する相談、助言 月～金 年447件

2) 地域看護の質向上に関する研修

(1) 地域看護における看護職員の育成

- ・訪問看護入門研修会 年5回 2日 受講者 延170名
- ・訪問看護師養成講習会 年1回 10日+eラーニング 195時間相当
受講者 53名
- ・精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 年1回 3日 受講者 47名
- ・訪問看護現任者研修 年4回 0.5日 受講者 238名
- ・地域連携のための相互研修会 年2回 3日 受講者 119名
- ・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル) 年1回 3日 受講者 65名
- ・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護学生等対象) 受講者 611名

(2) 地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立

- ・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル) 年1回 3日 受講者 62名
- ・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会 年1回 11日 受講者 76名
- ・重度重複障がい児者等支援看護師養成研修(看護師対象) 年2回 1日 受講者 77名
- ・高齢者の終末期看護研修(ELNEC-JG) 年1回 2日 受講者 45名

(3) 地域看護におけるトップマネジャーの育成

- ・訪問看護ステーション管理者研修会 年3回 3日 受講者 延130名
- ・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル) 年1回 3日 受講者 47名

V 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(定款第4条第1項第5号 公益目的事業)

事業実施内容	
1	看護職員確保定着対策の推進
1)	看護師等の無料職業紹介事業(本所及び相模原支所)
(1)	求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 求人相談 年 4,037 件、求職相談 年 3,830 件
(2)	第6次 NCCS の運用 就職数 年 712 件
(3)	相談員の質の向上 都道府県ナースセンター相談員研修 2回
2)	届出制度の促進及び支援事業
(1)	届出制度の普及 届出数：7,538 名
(2)	届出者の情報管理 就職・研修等の情報提供 1回以上/月
3)	ハローワーク・ナースセンター連携事業
(1)	労働局・公共職業安定所との連携
	・求人票・求職者の情報交換と支援及び職種別賃金等の情報交換
	・巡回相談の実施 月1回 7か所 面談者 182名
	・運営及び情報共有の会議 連絡調整会議の開催 年1回、求人・求職の情報共有
	・連携セミナーの開催 セミナー回数 7回 参加者 149名
4)	広報活動及び情報提供事業
(1)	「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布 未就業看護職・施設等への配布 5,000部
(2)	看護学生・教員への周知 卒業年度学生へ「はたさぼ」配布 41校 3,260部
(3)	年報の発行 200部 配布先：行政機関等 91か所
(4)	医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出(館内・館外) 計14本
(5)	ナースセンターホームページ及びLINEによる広報の強化 求人・求職登録増にむけた情報発信、LINE登録数 450名
(6)	講師派遣 高等学校1校 看護専門学校等3校
5)	関係機関との連携・会議
(1)	中央・都道府県ナースセンターとの連携 通年 / 随時
(2)	社会福祉協議会福祉人材センターとの連携
	・福祉施設等就職相談会等への協力・後援 福祉施設等就職相談会への派遣及び登録求職者への研修案内配布協力
(3)	会議
	・看護職員確保対策連絡協議会 年1回
	・ナースセンター事業運営会議 年1回
	・ナースセンター連絡会議 年1回
	・都道府県ナースセンター事業担当者会議 年1回(オンライン形式にて実施)
6)	看護職員の定着を図るための相談事業
	就業者の就業相談の実施 相談内容の分類と分析/通年

事 業 実 施 内 容

7) 研修支援事業

(1) 未就業看護師等への「復職支援研修」

年 3 回 各回定員 50 名 受講者 140 名 就業者数 32 名

追加研修 1 回 受講者 9 名

(2) 定着に向けた「就職定着自己学習会」定期開催

年 8 回 各回定員 6 名 受講者 32 名 定着数 17 名

(3) 看護職のキャリア継続支援研修「キャリアをつなぎ・いかす」

定員 80 名 応募者 80 名 受講者 66 名

2 看護に関する普及啓発事業の充実

1) 進路相談事業 通年 相談件数 37 件

2) 看護フェスティバル開催への協働

看護フェスティバルでの進路相談 62 名

3) 一日看護体験の案内 期間 2023 年 5 月 1 日～8 月 31 日 協力施設 136 施設 / 4,989 名

4) 看護の仕事の普及啓発

若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発

「やさしさがキャリアになる」リーフレット配布 中学 466 校

看護の仕事ガイドブックの配布 高校 208 校

VI 会員に対する支援事業(定款第 4 条第 2 項第 1 号 収益事業)

事 業 実 施 内 容

1 会員に対する情報提供等事業

1) 職能委員会における情報提供等

【職能委員会活動報告(pp. 30～34)参照】

2) 支部における情報提供等

【支部活動報告(pp. 35～48)参照】

2 会員に対する福利厚生事業

1) 「看護職賠償責任保険制度」の加入推進 加入者数 8,404 名

2) 表彰

3) 神奈川県看護協会指定店事業 指定店 約 300 店舗

4) 会員の慶弔等への対応 弔慰金支給 11 件

5) 会員相互の親睦を深める機会の充実

・会員交流会 2023 年 10 月 28 日(土) 参加者 67 名

・新春のつどい ※中止

6) お年玉プレゼント(広報出版委員会) 当選者 67 名

7) 会員サポート事業

3 会員に対する研修支援事業

1) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援

(1) 認定看護管理者教育課程事業

・認定看護管理者教育運営会議 定例会 年 3 回

・ファーストレベル 研修期間 2023 年 5 月 12 日～ 2023 年 8 月 31 日 受講者 74 名

・セカンドレベル 研修期間 2023 年 10 月 6 日～ 2024 年 2 月 29 日 受講者 39 名

・ファーストレベルフォローアップ研修 年 1 回 受講者 51 名

事業実施内容	
・セカンドレベルフォローアップ研修	年1回 受講者 42名
・ブラッシュアップ研修	年3回 受講者 73名 (延べ合計人数)
(2) 組織的役割遂行能力/自己教育・研究能力研修	年12回 延13日 延受講者 822名
(3) 医療安全管理者養成研修	eラーニング+集合研修 1日 受講者 115名
(4) 感染管理研修	年1回 半日受講者 19名

VII 法人の管理に関する事業(定款第4条第2項第2号 法人管理事業)

事業実施内容	
1 職能団体としての組織・運営強化	
1) 諸会議の開催	
(1) 通常総会	2023年6月16日(金)
(2) 理事会	定例理事会 5回 臨時理事会 1回 書面決議 1回
(3) 事業説明会	2023年7月1日(土)
(4) 財政会議	【会議活動報告(p.64)参照】
(5) 新聞への広告掲載	年2回
2) 日本看護協会との連携	
(1) 通常総会への参加	2023年6月7日(水) 開催地：幕張メッセ(千葉県)
(2) 全国職能集会への参加	2023年6月8日(木) 開催地：幕張メッセ(千葉県)
(3) 地区別法人会員会・職能委員長会(関東甲信地区)の開催	2023年10月26日(木)、27日(金) 開催地：栃木県
(4) 看護補助者キャンペーンウィーク事業の開催	2023年8月10日(木) 参加者 23名
(5) 看護補助者を対象とした標準研修の開催	第1回：2023年10月2日(月) 参加者 8名 第2回：11月1日(水) 参加者 6名
(6) 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント(神奈川県との共催)	2024年1月27日(土) 参加者 42名(うちオンライン参加者 4名)
3) 公益法人に関する業務等	ホームページ、KANAGAWA 看護だより等の活用
4) 事務局機能の整備・充実	
(1) 事務局情報通信システムの運用・管理	
(2) 役職員の資質向上のための研修及び学会参加	事務局・訪問看護ステーション研修 年各1回、学会参加 年5回
5) 委員会	
(1) 推薦委員会	【常任委員会活動報告(p.57)参照】
(2) 会員委員会	【常任委員会活動報告(pp.60~61)参照】
(3) 看護研究倫理審査会	年2回 審査題数 1日目6題、2日目7題 【会議活動報告(pp.64~65)参照】
2 政策提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進	
1) 神奈川県・県議会への要望活動	年1回
2) 神奈川県との連携	
地域医療の神奈川モデル事業	
中郡内新型コロナウイルス感染者のサポート業務 2023年4月をもって終了	
3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進	

